

2010年度

科目名	文化財研究法2A		
担当教員	犬木 努		
配当	文財2	コード	32890
開期	前期	講時	水曜日2限
		単位数	1
授業テーマ	文化財研究の基本を学ぶ(その1)—自己の問題関心を高めるために		
目的と概要	文化財学科に入学して早1年。そろそろ、文化財学(考古学、歴史学、美術史学)の面白さ、難しさがわかってきたことであろう。4月には下級生も入学してきた。のんびりしているとあと3年なんてあっという間である。このあたりで心機一転、自分を見詰め直す作業も必要であろう。前期の授業を通じて、自分が何を学びたいのか、何をしたいのか、そして自分に何が足りないのかを自問してほしい。この授業は、そのためのきっかけづくりの場にしたいたいと考えている。		
成績評価法	平常点、レポート、授業中の発表成果などを総合して行う。		
テキスト	使用しない。授業時に適宜プリントを配布する。		
参考書	授業中に適宜指示する。		
履修に当たっての注意・助言	とくになし。		
講義計画			
<p>「文化財学」という学問分野の「厚み」「深さ」を多少なりとも体感してもらおうべく、先行研究への正しいアプローチについて習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の数回は文化財学の基本理念についての講義を行う。</li> <li>・あとは、文化財学の基本文献をいくつか選び、読み進めていく。毎回、担当者を決めて発表形式で授業を行う。</li> </ul> <p>※授業回数は、前期に隔週で7から8回を予定している。          ※このほか、その時々の新発見を話題にしたり、実際の遺物を用いながら、考古遺物の観察方法にも触れる。</p>			